

## 答

愛顔つなぐえひめ国体・えひめ大会は、本市を全国にアピールする絶好の機会である。西条の地を訪れたかたがたの心につまでも残り、「また西条に行きたい」と思っていただけの大会とするため、市民一人一人が自発的に一役を担っていただけるような参加機会を創出し、市民総参加で開催機運を盛り上げていきたいと考えている。

また、リニューアルした市ホームページやフェイスブックなどの各種媒体を今後も積極的に活用し、石鎚山やうちぬきなど、本市独自の魅力あふれる地域資源を精力的に配信することで、本市の魅力を国内外へ発信していきたい。

更には、今後の外国人観光客数の増加や、えひめ国体・えひめ大会の開催などを見据え、観光施設、国体競技施設を重点的に公衆無線LANの整備を図っていききたい。

## 選挙の投票率

## 向上対策を！

## 問

近年、選挙の投票率は右肩下がりでありますが、

本市の選挙結果をどのように分析しているのか。

また、投票環境の整備や啓発活動など、今後、どのような取組を進めていくのか。

## 答

本市の投票率は、年齢別では高齢者層が高く若年者層が低い。地域別では丹原地域が高く、西条地域が低い傾向にある。これは、若年者における政治的無関心や地区における年齢構成、隣人とのつながりの強弱などが影響しているものと分析している。

社会環境などの変化に伴い、投票環境における課題も生じており、投票所の駐車場不足の解消や選挙制度の改善に向けた国への要望、期日前投票により、誰もが投票しやすい環境整備に努めている。

今後は、現在の啓発活動に加え、投票率が高く推移する他市について調査し、本市に反映していくとともに、選挙権の年齢引き下げについて、関係機関等と情報共有を図ることでスムーズな移行につなげ、投票率の向上に努めたいと考えている。

## 西条市民

## クラブ

## 議案質疑

## 平成27年度

## 一般会計補正予算(第3回)

## 災害に強い

## 森林の整備を！

## 問

水源の森整備事業における平成27年度の事業内容及び問題点、事業効果をどのように見込んでいるのか。

## 答

水源の森整備事業は、保水力が高く災害に強い森林の整備を行うことを目的に、平成26年度から10年計画で実施している。平成27年度は、加茂川水系の大保木地区及び妙之谷川水系の湯浪地区の放置林の施策を予定している。

本事業の実施に当たり、山林の境界確定が必要であることから、山林所有者などの立ち会いによる現地確認を行ったが、境界が確定せず、事業開始までに時間がかかるなどの問題点が生じている。

また、事業効果を測定するには、長期にわたり検証する必要があるため、事業完了後も引き続き事業効果を検証し、効果が大きいと判断した場合には、他の地域での事業実施についても検討し、今後とも本市の水を守る水源の森整備事業を積極的に推進していききたいと考えている。

## 一般質問

## ストップ 人口減少！

## 移住・定住策の促進を！

## 問

子育て世代の移住・定住を促進していくために、今後、どのような支援を行っていくのか。

## 答

平成26年に国において策定された「まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、人口減少対策の柱の一つとして、東京圏から地方への移住を促すことが示された。

本市においても、平成27年度の組織改編により企画情報部に地域創生室を新設し、総合的な窓口として人口減少問題の対応や地方の活性化などに取り組みこととしている。

本市の将来を担う子育て世代を中心とした移住・定住策として、安定した雇用環境の提供、空き家などを有効活用した住居支援、子育て環境の整備や保育サービスなどの充実による子育て支援、円滑な移住・定住を促進するための市民の協力的体制づくり、交通網の整備などの支援策を展開させていくことが重要であると認識している。今後も移住・定住促進対策として、さまざまな施策に積極的に取り組んでいきたい。



間伐整備が進められる放置林(大保木地区)